

たねまき

草花作りは、たねまきから始まります。丈夫で良い苗を作るため、たねまき作業の基礎をしっかり身につけましょう。

鉢・箱まき

容器 鉢（浅い鉢がよい）、平箱（深さ3～5cm）

用土 赤玉土か川砂に腐葉土またはピートモス、バーミキュライトを等量混ぜたもの。

清潔で、みじんを取り除き、2mm程度のふるいにかけたものを用いる。

準備 鉢や箱の1/2ほどに粗い赤玉土などを入れた上に用土を3cmぐらいの厚さに敷き、表面を平らにならしておきます。

まき方

ばらまき たねを平均に散らばらせてまく。

すじまき 3～5cm間隔に浅い溝をつけ、すじ状にまく。

覆土 たねをまいた後、上からふるいを使って土をかけます。土の厚さは、たねの約2倍ぐらいとします。こまかいたねは、覆土の必要がありません。

管理 鉢まきは、発芽まで受け皿で鉢底から吸水させます。

箱まきは、目のこまかいジョロで静かにかん水します。

発芽するまでは日陰に置くか、新聞紙などで上を覆っておきます。

床まき

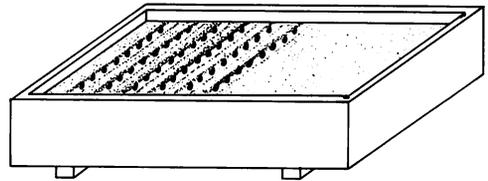
準備 60～90cm幅で掘りかえし、土を砕いて、腐葉土、パーライトなどを混ぜ、盛りあげてうねを作ります。

まき方 ばらまき、すじまきのほか草花の大きさを考え、間隔をとって1ヶ所に2～3粒ずつまく点まきという方法があります。

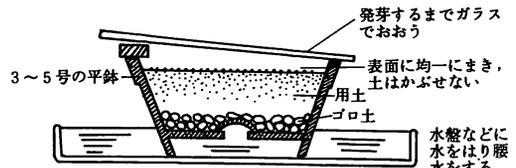
じかまき

たねが大きいアサガオ、ヒマワリ、ヘチマなどや移植を嫌うヒナゲシ、ルピナスなどは庭や花壇に直接たねをまきます。まく場合はまえもって、堆肥や腐葉土を入れて改良しておきます。

まき方は、点まきとし、発芽後1本を残し他を間引ます。



箱まき（すじまき）



たねのまき方（細かいたね）

発芽適温とおもな草花

発芽適温	種 類
10～15℃	アスター、アリッサム、プリムラ、コスモス、ヒナゲシ
15～20℃	アゲラタム、カスミソウ、カルセオラリア、キンセンカ、キンギョソウ、ダイアンサス、スイートピー、パンジー、ダリア、ナスタール、チューム、ロベリア
20～25℃	アサガオ、コリウス、ペチュニア、サルビア、オシロイバナ、ハゲイトウ、ニチニチソウ、マツバボタン、ヒマワリ、クレオメ

